

▶ 第29回目となる今回は、大月短期大学 経済科 1年 片桐このみさんが、株式会社 富士急ハイランド 取締役社長 高部久夫氏 を取材しました。



経営者

株式会社 富士急ハイランド
取締役社長
高部 久夫 氏

『世界に拓く アミューズメントパーク』

学生

大月短期大学
経済科

1年 片桐 このみ さん



▶ **学生** 会社概要と事業内容について教えてください。

▶ **経営者**

昭和36年に「富士五湖国際スケートセンター」がオープンしました。その頃は、富士急行株式会社が直接富士急ハイランドを運営していましたが、昭和41年のジャイアントコースターの登場を期に、その他施設と併せ昭和44年に株式会社富士急ハイランドとしてグランドオープンしました。弊社の事業内容は、お客様の受け入れや営業など遊園地の施設運営を行っています。

〈富士を世界に拓く〉という創業精神を基礎に、グループの経営理念である「夢、喜び、快適、やすらぎ、感動」をもとに、お客様が楽しんで明日からも頑張ろうと思ってもらえるような運営を心がけています。

弊社はFUJIYAMAや高飛車などの絶叫系アトラクションが主流ですが、今年は富士山が世界遺産に認定されたので、絶景マシーン「富士飛行社」を立ち上げ、様々な層のお客様に喜んでもらえるよう力を入れていきます。

▶ **学生** 御社が求める人材を教えてください。

▶ **経営者**

「自分で考える力のある人」「自己啓発力のある人」です。様々な知識を持った人が入社してきますが、考える力のある人を求めます。また、最近はアジアやヨーロッパなど海外からのお客様が増えてきており、弊社もグロー

バル化のために、英語だけでなく中国語などの第二外国語ができる人も求めています。

▶ **学生** 企業におけるスクラップアンドビルドの取り組みについて教えてください。

▶ **経営者**

成功体験のまま止まってしまったらその時点で後退だと思っています。従業員には「現状はすでに過去ののだから次のことを考えなければいけない。一つでもよいから日々何かを変えることが大切で、チャレンジして行かないと現状のままでは次は負けてしまう。」と伝え、常に従業員と一緒に変革に取り組んでいます。

▶ **学生** 社長ご自身が大事にされていること、学生に伝えたいことは何でしょうか。

▶ **経営者**

人間というのは、「人の間」と書くように人間関係が深

くかかっています。職員に願っているのは「挨拶」です。挨拶は先に気づいた方がすることが大事で、たとえ背中を向けて聞こえていなくても、自分から挨拶をして、相手の見返りは求めない。相手が返さないから、自分も挨拶をしないとなると人間関係は崩れてしまいます。お互いに挨拶をしあうということを大事にしています。

最近の若者の中には、友人と一緒にいてもスマートフォンを見つめている人が沢山見受けられます。人生の先輩から言わせていただくと、人に対する人間力(対人力)が弱くなっているのではないのでしょうか。これまでなら学生の時に培われていた対人能力が、今は損なわれているのではないかと感じています。

また、行動の中に「誠実さ」「真」があるかどうかです。例えば、怒る・教えるなどの行動する時に、その中に誠実さを含めることが大事であり、上司だから、目上の人だからではなく、お互いに誠実さを持って接することが大切だと思っています。

取材を終えて…

企業のトップの方と話しをするのは初めてだったので、とても緊張しました。緊張しすぎてうまくインタビューすることができませんでした。しかし、高部社長ははにかやかに楽しく会話を進めてくださり、大変助かりました。

日本でも有数のテーマパークの運営を任されている方だけあり、従業員との関わり方や人生経験談など貴重な話を伺うことができ感激しました。今後の就職活動に生かせることを教えていただけて、本当に良かったと思います。私も誠実さを大事に生活していきたいと思いました。本当にありがとうございました。

